

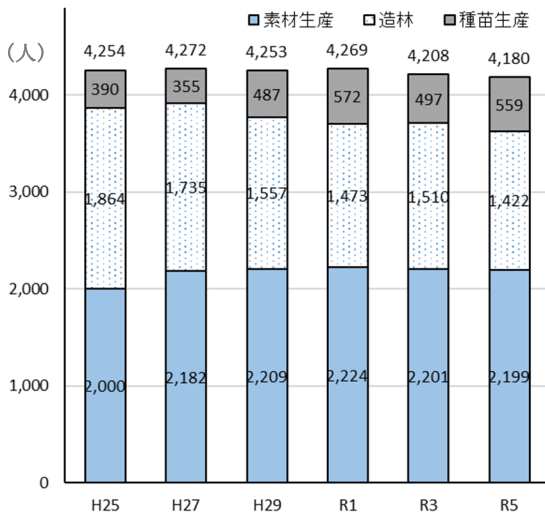
行政の窓

林業労働実態調査(令和5年度実績)の概要について

道では、素材生産や造林、種苗生産を行っている林業事業者を対象として、道内における林業従事者の実態を把握することにより、安全衛生の確保、技術・技能の向上、福利厚生の充実など、今後の林業労働対策の施策立案や統計に活用することを目的として、標記調査を隔年で実施しています。

1 林業従事者数の推移

林業従事者数の合計は4,180人で、概ね横ばいで推移しています。

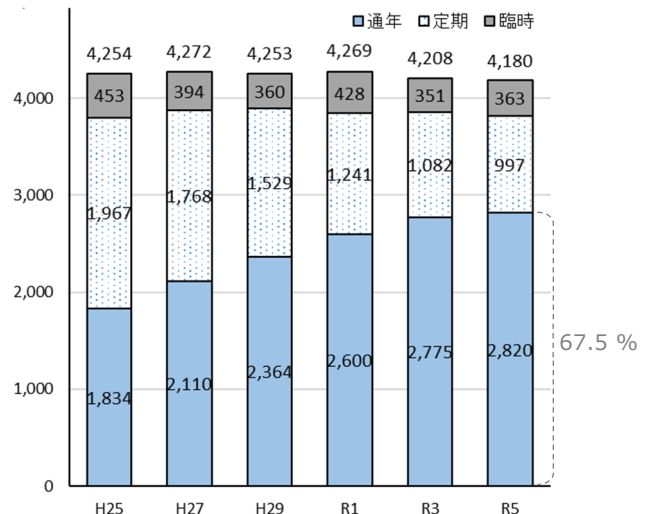


<従事者区分>

素材生産：主に素材（丸太）生産に従事している者
 造林：主に地拵、植付、下刈等に従事している者
 種苗生産：主に苗木の生産に従事している者

2 雇用形態別林業従事者の推移

通年雇用者は2,820人で、増加傾向で推移し、従事者数全体の67.5%を占めます。

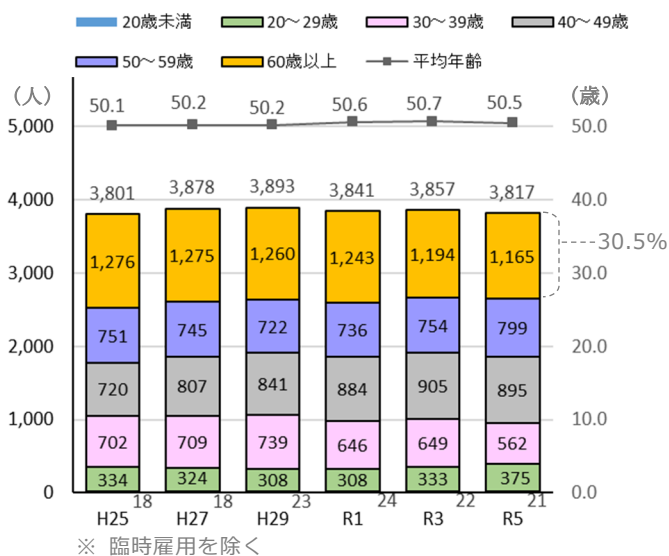


<雇用形態区分>

通年雇用：年間を通じた雇用
 定期雇用：被保険者期間が通算して1年未満6ヶ月以上の雇用
 臨時雇用：通年、定期以外で一時的な雇用

3 年齢別林業従事者数の推移

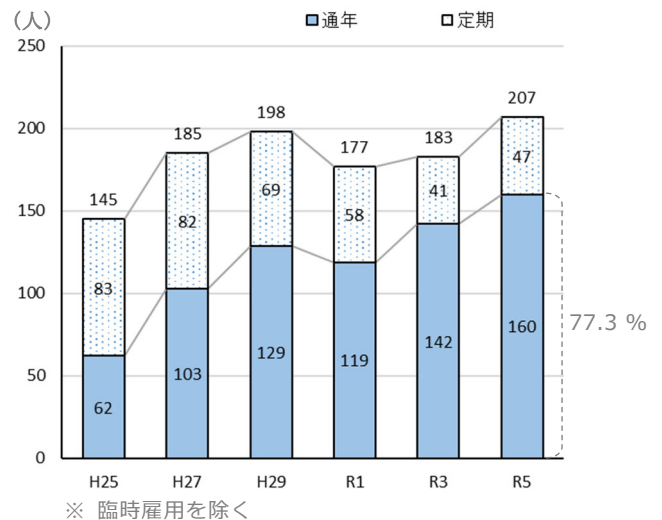
平均年齢は50.5歳で、概ね横ばいで推移しているものの、60歳以上の割合は30.5%と依然として高い状況。



※ 臨時雇用を除く

4 新規参入者数の推移

北森カレッジで令和4年度から第1期生を輩出しており、新規参入者は207人で、通年雇用者が77.3%を占めます。



※ 臨時雇用を除く

詳細は、次のURL（林業木材課ホームページ）からご覧いただけます→https://www.pref.hokkaido.lg.jp/sr/rmm/07_ninaite/n005.html

（水産林務部林務局林業木材課担い手育成係）